

まっちゃんぐ

街 ing いばらき NEWS

No.260

2024年
10月号

(毎月25日発行)

長谷川誠子

9月例会 議事録

日時： 令和6年9月5日(木) 14:00~16:00

場所： 川本本店

出席：9名 川本 阪田 阪田悦子 笹嶋 杉田 鈴木 長谷川 牧 吉田

- 1 10月22日(火)に日本銀行大阪支店を見学します。銀行職員の解説付き。参加者12名 河村 川本 阪田 阪田悦子 笹嶋 杉田 鈴木 南野 松岡 牧 吉田 吉田洋子 昼食会場は近辺のイタリアンレストラン。9時阪急茨木市駅集合。
- 2 11月26日(火)に下賀茂周辺を散策予定でしたが、昼食会場の定員が少ないことから中止。代わりに神戸市の相楽園周辺を訪ねます。案内書を4~5ページに掲載しています。申し込み締め切りは10月3日(木)です。
- 3 来年3月に摂津富田の酒蔵清鶴の見学を予定しています。
- 4 タウンミーティングを10/3(木)に実施します。茨木市副市長に病院の誘致、道路拡張、JR茨木駅前再開発などの現状を説明していただきます。
- 5 今後の例会実施日 10/3(木) 11/7(木) 12/5(木) 1月なし 2月なし 3/6(木) 4月なし 5/8(木)



日本銀行大阪支店のここを見よう

街 ing では 10 月 22 日(火)に日本銀行大阪支店を見学します。大阪支店の顔ともいえるのが、南北に延びる御堂筋に面し、ドーム型の屋根を持つ旧館です。見どころを紹介します。

外観

旧館は、明治 36(1903)年に建設されました。設計は、「日本近代建築の父」と言われる辰野金吾によるものです。デザインは、ベルギー国立銀行等をモデルにした古典主義の流れを受けています。築後 80 年を経て老朽化と地盤沈下が進んだため、当初は取り壊される予定でしたが、「歴史的価値のある建物をぜひ残してほしい」という大阪市民や文化庁からの強い保存要請を受け、可能な限り面影を残す形で昭和 55~57(1980~1982)年にかけて改築工事が行われました。御堂筋側から見える東、北、南側の外壁のほか、中央のドームとその両側に配置された三角屋根は、往時の姿をとどめています。



避雷針

旧館の屋根に「アンテナ」らしきものが突き出ているように見えますが、これは明治建築以来の避雷針(ひらいしん)です。全部で 6 本あります。こちらはドーム型屋根に設置されている避雷針の写真です。



玄関ポーチ

角柱と丸柱の混用とイオニア式柱頭飾りの重厚な装飾がなされています。このようなデザインはバロック調と呼ばれる建築様式であり、17~18 世紀にかけてヨーロッパで広まったものです。



コンコース

正面玄関を入ってすぐは旧館 2 階までの吹き抜けになっていて、その先は中庭に通じるコンコースとなっています。これらの部分は復元・改築工事により、昭和 57(1982)年に設けられました。正面玄関の鉄扉は通常は閉まっており、開けられることはありません。



暦の上では、立秋（8月8日）から立冬（11月7日）の前日まで、日本では俗に9,10,11月を秋とっておりますが、地球温暖化の影響なのか最近の気節に少し違和感を感じます。



猛暑の多い夏が過ぎ去り、吹く

風が肌を心地よくさせ、やがて肌寒さを感じるようになると木々の緑が赤や黄色に色づく季節が秋です。秋は空気が澄んでいるので、青空や夜の月や星もきれいに見え、私たちに癒しを与えてくれる一年の中でも最も過ごしやすい季節といえるでしょう。

秋を表す言葉に“食欲の秋”“芸術の秋”“読書の秋”“スポーツの秋”“行楽の秋”“米や果実の”実りの秋“などあり、私たちを大いに楽しませてくれる季節でもあります。

「街ing いばらき」の会も設立以来毎年”紅葉狩り“を 会員 牧さま のご案内で実施し、参加された人それぞれ色彩豊かな自然を切り取りカメラにおさめ、アルバムに整理したり絵に描いたりして思い出にしておられます。また道中の街歩きでは、歴史的建造物の見学や美味しい食事をしたり、日常の生活を忘れた秋の一日を楽しんでおられます。（画像は令和5年 石山寺 を描いたものです）

港町・神戸の“レトロ建築” ウオッチング！

2024年11月26日（火）

神戸居留地返還から百有余年、開港以降の歴史的建造物が比較的多く残っている海岸通・旧居留地から中山手・相樂園までを気の赴くままに歩く。

港町・神戸のど真ん中、旧居留地境界。開港当初は外国人占有地であったこの一隅は、異国の香りを漂わせる街・神戸「まちづくり」の原点となる。

そこから連なる南京町・元町辺りへと、空気は静かに流れて拡散する。“レトロ”と新しさが混在する令和の異国情緒を、人生の紅葉期真只中の仲間たちで存分に享受しようではないか！？



都心のオアシス・相樂園

さあ、わが国が誇る錦秋の候、五感（視・触・聴・嗅・味）や第六感（直観）などの人の持てる知覚の全てを駆使して、港町・神戸の“異国情緒”に存分に浸りながらの“町並み・歴史・文学・味覚”散歩は、如何でしょうか！

水先案内人：牧 彰（会員）

○参集地：阪急「茨木市」駅9時30分（時間厳守）

○順 路：阪急「茨木市」9：44⇒10：28「阪急三宮」～（昼の宴）～神戸市役所展望ロビー～東遊園地～旧居留地～南京町～元町～県公館～神戸栄光協会～相樂園～旧竹中大工道具館～生田神社～「阪急三宮」・「JR三ノ宮」17時頃解散

○昼の宴：「ダイナミックキッチン燦 SUN 神戸（11：00～12：00）」☎050-3199-1485
交通センタービル10階

日本各地の厳選素材・郷土料理をスタイリッシュに愉しむ“素敵なひと時”を！
鯛めしランチなど（2,000円程度）飲み物は別途

○定 員：12名（貸切個室の定員による） 申込締切10月3日（木）

○参加費：煮料（会員外は資料代100円）

○申込先：「街ing いばらき」代表・阪田 浩（080-1436-9881）

Tel&Fax/072-627-3480 E-mail/ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

※本会行事は自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己負担でご対応ください。

<レトロ建築>

“レトロ”とは、懐旧的を意味する retrospective からの造語で、レトロファッション、レトロ商品、レトロ建築などの言葉を派生的に創り出している。“レトロ”には、単に懐旧的を意味するだけで、特にどの時代を懐かしむと決まった訳ではないが、古き良き時代を懐かしむ傾向として、現代生活の中にしっかりと根を下ろしている。

“レトロ”とは、全てが合理化され平準化されていく管理社会の流れに対する無意識の抵抗として、今後も様々な場での活性化要素であり続ける「キーワード」なのである。

港町・神戸の“レトロ建築”ウォッチング（2）



兵庫県公館の桜

従来の日本社会は、万事身体健全な壮年男子の視線で造られてきました。しかし、人類の半数は女性であり、また、その内の半分は小児・高齢者です。人口の凡そ3/4を占める社会的弱者を自然に受け入れてこそ、真に健全で潤いある“まちづくり”といえましょう。

“環境”と“人権”を理念とする今世紀は、“女性の時代”といわれています。「無駄を省く」合理性と「無駄を活かす」創造性を兼ね備えた“新しい女性像”が、今、切に求められているのです。

今回の“タウンウォッチング”は、“女性の感性”と“弱者の目線”で“人と街”をウォッチングし、以下の項目などについてよく考えてみよう。

◆自然との共生（持続可能な社会構築のために）

- ◇神戸市は、日本一緑化率が高い都市といわれています。“建築”と併せて、“樹木”もウォッチングしよう。
- ◇欧米では、街路樹は“都市の顔”といわれています。国際性豊かな神戸の街路樹に注目し、樹種や常緑樹・落葉樹・在来種・外来種・花木などの違いについて調べてみよう。
- ◇これからの施設は、“環境共生建築”とすべきでしょう。自然エネルギーの活用や、自然採光・自然喚起・窓の大きさなどをよく調べよう。
- ◇西日や夏季の強い日差しへの対策は？ガラスの種類・ルーバーや庇の有無・樹木の効用について調べよう。
- ◇都市の保水力を高めて、ヒートアイランド化を抑制する配慮は？透水性舗装の有無・植栽面積・屋上緑化・親水施設などに注目しよう。
- ◇無機質の都会に四季折々の風情を添える演出は？落葉高木・パーゴラ・壁面緑化・花・噴水・せせらぎなど。

◆ノーマライゼーションの推進（バリアフリーからユニヴァーサルデザインへ）

- ◇交通量に見合う道路幅？車道と歩道の段差解消や歩行者の安全対策などは？
- ◇施設入口の扉幅・開閉方法・形状・高さなどは、万人に対して適切か？
- ◇誰でも安心して自由に使える清潔で快適な公衆トイレが是非とも必要！
- ◇施設内外の階段幅・踏面・蹴上・手すりなどは、弱者に対しても十分配慮されているか？
- ◇病院のリハビリ訓練室は、いつもお年寄りで賑わっています。歩道は滑らず躓かず、転んでも怪我しづらい材質にしたいものです。
- ◇カウンター・テーブル・電話台の高さなどは、車椅子や幼児への配慮が必要なのは？
- ◇日本の都市街路には視聴者用点字タイルが氾濫しているが、お年寄りや女性が躓く要因ともなっています。この際、点字タイルの効用などについて考えてみよう。
- ◇玄関庇は雨傘の開閉に十分か？都会にも雨宿りのための軒下空間が必要です。

◆アメニティの演出（街の活性化のために）

- ◇“レトロ建築”と“現代建築”の相違や、“レトロ建築”を保存する意義について考えてみよう。
- ◇ストリート・ファニーチャー（街灯・ベンチ・公衆電話・屑入れなど）の必要性について。
- ◇歩道や公園内の塑像・モニュメント・絵画などの効用は如何？
- ◇平面駐車場・立体駐車場ビルは、街並みを乱していないか？
- ◇事務所や駐車場ビルでも、足元の賑わい（店舗など）は必要です。
- ◇アーケードは必要か？必要な場合は、どのような構造・形態がよいと思われるか？
- ◇隣接する施設間の形態・色彩・質感などの統一・調和が大切。
- ◇“有機的まちづくり”には、植物だけでなく野鳥や犬・猫などの小動物との共生も不可欠です。
- ◇神社・仏閣・小公園や安らぎ・寛ぎの自由広場も大切な都市の要素です。
- ◇新旧建物の調和が大切！歴史遺産と同様に、一般の古い建物も大切にされているか？
- ◇24時間営業のコンビニや、自動販売機は必要以上にあるのでは？

◆街並みの美化（地域整備への貢献）

- ◇インフラの共同溝化は、“まちづくり”の基本です。無粋な電柱は、即刻整理・撤去しよう。
- ◇外壁や量感による威圧感・圧迫感の緩和（適切に分割配置・壁面後退など）は大切。
- ◇ペットや鳩などの糞は、始末されているか？塵芥・大型廃棄物などはどうか？
- ◇老朽化して放置されているビルはあるか？不統一な看板・サイン類は見苦しくないか？
- ◇歩道の仕上げ材や歩道橋・地下道の設置は妥当か？
- ◇施設や緑（特に街路樹）のメンテナンスは、きちんとされているか？
- ◇不適切な駐輪場は、街並みを乱す元凶です。自転車・バイク置場は適切にあるか？
- ◇緑化の促進を促し、地域の防災拠点となる広場などは不可欠です。

（梅花女子大学生活科学科講義録より）



10月“ダムパークいばきたフェスティバル” 杉田 宗三

安威川ダムは3月20日に完成式典が開催されましたが、その周辺整備として市が進めていた公園「ダムパークいばきた」が4月23日に一部オープンしました。

ここで10/26（土）に「ダムパークいばきたフェスティバル」が開催されます。

日 程：10月26日（土）

時 間：10:00～16:00

場 所：生保半島さくら広場（ダムパークいばきた内）

（荒天時 11/2（土）順延）

“ダムパークいばきた”がオープンする前にも開催されていましたが、公園がオープンして初めての開催となります。

このフェスティバルは、「ダムパークいばきた」を拠点として活動しているグループ「ダムパークいばきたコミュニティ」が中心となって、フェスティバルの企画から運営、プログラムまで実施します。

子どもからご年配の方までの様々な層の人たちが参加できる、茨木市の資源を活かしたプログラムや、地元特産の野菜の販売、料理が堪能できるそうです。

会場からは現在工事中の日本一の歩行者専用吊橋の鉄塔や安威川ダム湖が望め、芝生広場などもあり、自然豊かな気持ちの良い空間となっています。



生保半島さくら広場



吊橋の鉄塔

超高齢化した茨木サニータウン

杉田 宗三

茨木サニータウンは 1970 年代前半から北部丘陵地を関西電力系の昭和土地開発(株)が計画人口は 1 万 2 千人で開発し、1978 年(昭和 53 年)春から入居が始まった。それから 46 年経ったの現在、高齢化率は下表の通り茨木市全体より 2 倍も高い。

(令和 6 年 6 月 30 日現在)

	世帯数	人口	65 歳以上人口	率(%)	75 歳以上人口	率(%)
茨木市	134, 345	285, 903	68, 167	23.8	39, 457	13.8
山手台	2, 834	6, 078	2, 750	45.2	1, 788	28.9

この状況下で差し迫った課題の第 1 は移動手段、第 2 は、空き家の増加だ。

第 1 の課題では、J R 茨木駅と阪急茨木市駅方面へはバス便はあるが、団地内の高低差が 100m を越えているため域内での買い物や郵便局行きなどでも車が欠かせない。また最寄りの高槻赤十字病院は市外でもあり、バス路線から外れているため車が欠かせない。

従って、高齢者運転にならざるを得ない。更に車のない移動困難な高齢者も増えている。

こうした中、福島市土船地区の「おでかけサポート」の取り組みが目にとまった。2021 年から開始された「住民互助」による仕組みで行政の許可・登録を必要としない。

道路運送法では、ガソリン代などの「実費」や社会通念上、常識的な範囲の「謝礼」を払っても有償運送でなく、許可や登録は不要のため。



特徴は、極めてシンプルな制度。まずは運転手、利用者、それぞれが登録を行う。利用者登録ができる人は「当地域に住んでいて交通手段に困っている高齢者(65 歳以上)」「自分で車を運転できない人」に限定。運転手も「当地域に住んでいる人」のみ。運転手をする場合には安全講習を受講し、ボランティア運転手の認定を受ける必要があるが、利用の予約は、利用者が運転手と相談して決めるという極めてアナログかつシンプルなルールだ。ライドシェアのようにアプリで予約するようなシステムではない。

次に、第 2 の課題の空き家が増加の件では、不動産業者のチラシを見ると転入希望者は多くいるのに売る人がいない。現に、売る人がいると直ぐに若い世代が建替え入居してくる。



茨木サニータウンの場合は空き家の課題を解決すれば若い運転手の確保は見込めるが、人間関係が薄いので、「住民互助」による仕組みの実現は難しそう。目下妙案なし？

次回のイベント

街歩き 10月22日(火) 日本銀行大阪支店を見学 阪急茨木市駅 9時集合

—— 次回『街ingいばらき』例会のご案内 ——

- 日時： 令和6年10月3日(木) 14:00~16:00
場所： 川本本店 茨木市上泉町 6-29
議題： 1. タウンミーティング
2. 11月26日(火)の神戸相楽園周辺散策
3. 12月の忘年会 他

『街ingいばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年5回程度の街歩きを行っています。

参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。

とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000円 会費 年間2,000円(一か月170円)



« 編集後記 »

- 10月3日(木)の例会には、茨木市の副市長が参加されます。めったにない機会ですので、ぜひご参加ください。資料の用意など事前準備が必要です。出席される方は参加のご連絡をお願いします。
- 11月26日(火)に予定していました下賀茂周辺散策は現地の都合で中止となりました。代わりに神戸の相楽園周辺を訪ねます。都会での紅葉を楽しみましょう。

« 編集・発行 »

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目10-22

Tel/Fax 072-627-3480 e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ing ホームページ : <http://wwa.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2024年9月現在での訪問者は10,310 <前月比20の増加> となっています。

